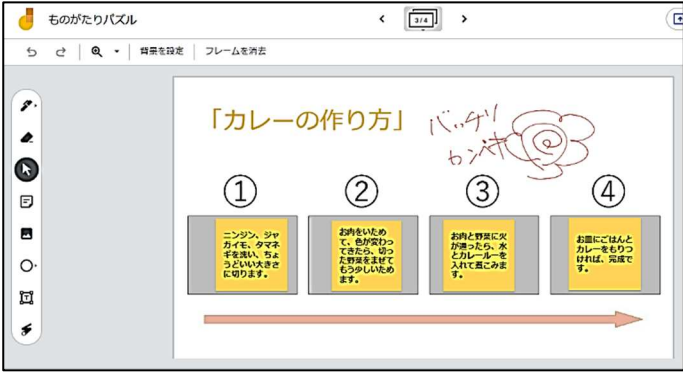


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

文章の読解力を高めるための ICT 活用 「ものがたりパズル」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 高等部3年（重複障がい学級）
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	<ul style="list-style-type: none"> 文の意味を理解するのが難しいことがある。 長文になると、文脈を読み取りながら読解することが難しいことがある。
授業について （教材・教具を使用した授業や指導場面）	教科名等	国語
	単元(題材)名	単元名「文章を読み取ろう」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> 物語や説明文などの文章を、いくつかの文のまとまりで区切り、正しい文脈になるように並べ替えることで読解力を高める。
	教材・教具 支援機器	<ul style="list-style-type: none"> 付箋に書いてある文章を読み、並べ替える。 
教材・教具 支援機器について	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○付箋に書いてある文章の意味を理解し、文脈や時系列に沿って並べ替えることができる。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 並べ替えのコマや矢印等は背景に設定し、文章は「付箋」機能を用いることで、付箋のみを移動できるようにした。操作性により、思考を整理しやすいことが期待される。 はじめは、昔話等、既知の物語の起承転結の場面を設定し、付箋の並べ替えを行う。慣れてきたら、架空の物語や簡単な説明文などの並べ替えを行う。 さらに慣れてきたら、文章の長さやコマ数などを増やしていく。
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ（Jamboard）
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> はじめは、ひとつの文の意味を理解することに集中していたが、慣れてくると、文どうしの関係性や流れに着目するようになった。 生徒同士でそれぞれのページを見合うことで、クラスメイトとの対話が生まれる場面があった。